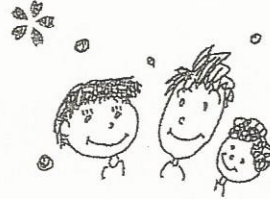


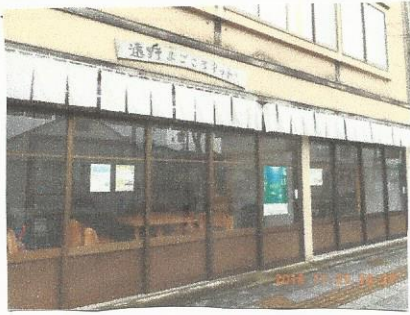
よりのそ



第225号

編集責任: 三好

ようやく来ました。



11/21(水)午後

2時すぎ、遠野

まごころネット4代

目事務所(馬前)

に到着。細川

さんが会議ある

ので午後2時頃までに来てほしい、と連絡あったので2015年11月以来、3年ぶりの遠野である。

細川さんと おられた 多田さんと 再会を互いに喜び合う。しばらくは、情報交換。駅前事務所は初めて。この部屋数も多く、面積も広い。JR遠野馬前の大通りに面しており馬から徒歩1分。一等地だ。ただ、正面は意外と地味で、パッと遠野まごころネットとは気づかない。木製の表示がガラス開き戸の土にかかっている。

釜石天洞での事務局連絡会を傍聴

多田さんが「今夕、釜石天洞(アドウ園の裏側)で定例の事務局連絡会があげませんか。多くのメンバーが集まるので、一度に再会できると誘われた。「でも一人ボランティアがそのような門に...」と答えると、「思い出して下さい。一年前、事務局も個人ボランティアも団体ボランティアも一緒に打ち合わせをしたのではないですか」といわれ、行くことにした。着いて(PM4:30頃)びっくり。「まごころ就

就支援センター釜石という立派な平屋建ての建物が完成していた。「えっ」という感じ。助成金と寄



附金で建設されたの。まごころ就労支援センター釜石。事務局連絡会は12名の出席で開会。7名の方は、私に知っている関係。5人の方が初対面だった。臼澤共同代表が「少し話をしようですか」とすすめるので、2分位遠野まごころネットの関わりを話させてもらう。

多岐にわたる報告

大槌就労支援センター、釜石就労支援センター、事務局、フィン・フドウ関係、100人センター等各担当から報告される。大槌で12人、釜石で21人が登録されているが、体調もあって毎日全員が通所されるわけではないことを知る。復興米も売り安くするために、2kgと

準備する話。サンタは100人募集に対して、現在36名なので、呼びかけを強めることが提起された。2019年度の人事院研修ボランティアは5コース全て受け入れること決まる。

アメリカ高校生ボランティアが2019年7月と8月にこの。いゆてNPO災害支援ネットワークにまごころネットも



加好ことになったので。事務局連絡会。PM5:40終了。